



福

田

^ 5
1623



利
1623
卷

阿多平耕一ゆあをりたを
 かひ風月た程をくゆのり
 年一と年本くは花お似あつ年
 多いたを——かたはる他を
 もと免さうの情成そくもの
 冬園辛亭此あく——井谷し
 うの程あ子よき日を撰く
 出程もあ代と鉄もるの首子
 三ととも春あことりふ

孤庵
 集佛



くつきれもせんく免咲ぬ梅林

兔



免よとゆるあもあうく庭の梅

素心

うめりまよ入ちまかしく免えりり

自松

雲ふりく白う梅よぬにり里

田子

萩のぬく白ひー梅のんえはり

之村

ノト七尾

う免よと免あをむく人の道はわ

其之

又といひ日あき志りた梅の花

紫青

五梅や水花あひ来るの年

一簣

星の夜と見ればあそりの梅白し 九基

うめ咲やとろおと水垣を赤し 越魚律 方翼

ゆふ月の梅さる顔よりつらりり 芸肇

西をありり柳はうとく梅の花 田壺

白よりあり日毎よさけよ梅乃花 九成

家あらはたへはゆらり月の梅 文若

とれちとゆ白しをらと梅の花 春蓬

梅の花咲へ人まのあしとる風 草均

人の目よ梅白魚のわさるるし 倉尺

梅乃月いつしり松よかまらり 枝川

茶の水子うめめ白ひや若の如 白義

垣の戸はうめ咲てうらぬよりり 素人

垣よりの子るひ遠来る梅の花 五峯

うめより魚や山よかまらるる 粕嶋

わり種も層内釈有り梅の花 百馬

梅の花は海さるるり 隈山

これぞお不二をあらはしよ窓の梅 西来

方義長やたやま子ともよ松の風 如童

たつ屋や亡父母とわら屋の仲 芽例

和鶴の倦しき家もあうまより 梅里

書そのや筆の海あるあきの方 又窓

蓬菜のふいそららよ水菜よ 一葉

足あれくものもめつりしと朝の妻 對月

海山の木立やまきくよむの妻 燕志

まつ妻や命のかきりも勢之 三枝

え朝や神もちりた人こそ 僧 又顯

岩をまの朝おきり作の庵 越后 几丈

和吉のこゝ岩の羽子朝日さ 僧 云和

茨名子ゆよへのあつたえあれり 松雅

岩やふ世のたうくく日の極り 越前 魯山

うらむさきのさうより明て東山 枕兮

管や毒の星よりい江よりあり 月橋

管のあらりれ出て初さるゝ 匡亭

比梅のむすけふりあふひる 佃三

黄巻や志る人もあり碇の松 指山

管よりふくくひ叶のくもまは 相雨

字久は毒やひりと梳子子羽の縁り 久溪

燃鳥干 顔さくむりよ 龍法師 柳曹

管のさうふりさる。 柳 五茶 阜石

くさあをねるる子着て柳 五 観之

山風子柳をさるく 索の風 掉江

映さきの又さふつく 柳か南 久州

まこ言さき染ありりり 川柳 一石

混とけくたるりりとさる 柳 越福光 益友

るの柳たる 飯茶へる 染りぬ 楚庄

白雲の降くも春の柳ハ 魚平
 咲ものよき夏の志らぬく柳ハ 如井
 くらかりの中ハ 穠花柳ハ 穠花
 秋のぬりさ降ハ 庭此柳ハ 十花
 くらの日も風小志られて柳ハ 後山
 穠つけた柳ハ 柳ハ 我教
 分入きはいさふるふハ 柳ハ 且古
 昔柳ハ雨窓の敷うたつきハ 越魚律 田基

薄月秋ふりかまハ 花柳ハ 光眺
 昔柳やハ築出ハ 庭のさき波ト七尾 百尔
 月ハ 人ハ 祓亦入ハ 柳ハ 松被
 及の色ハ の柳ハ よりたやハ 猫の意ハ 柳ハ 松
 猫の恵月ハ を枕ハ 子ハ 蔭も神ハ 其柳
 と柳ハ まてのハ 庭もハ 何ハ 寸猫ハ の妻ハ 杉夫
 祓去ハ のハ 心ハ たるハ うハ ちハ 守ハ てハ やハ ぬハ 庭ハ 為ハ 梁

垣皆くく 溜白にくく 猫の虫 眠和

川筋やと 赤門きして 穽月 更く

引流子月 ねるる有りき 石 蟻卵

雉子穴の 子子かく 籠と 了翠

一 藪ハあくと ありは 穽月 越魚俸 文景

るやむく 其おとも ぬくおる 馬井

層の外き ねり 叶の 籠月 越夫

ありくくと 纏よやよ 妻の月 其汀

一 越の 亭や 籠乃月 あり 五六

花守り子 をまの 妻の 名茶小 珍夜

目のおのふく けハ 喰くり 茶の 畠 叟 吏川

喰ぬ 茶此 存保 員しき 茶出小 魚夫

朝日さ 辰や 茶の 名茶 へく け 顔 女 きむ

層を分 ち土を けけて や 茶路の 塔 水川

陽春よまうそく 春のしらひ小 尚方

汐た〜る夕くれ赤ぬや昔の角 烏甲

昔の茅や舟のきれあふさるも似 似誰

あゝ草や二百遠よんえて波うら 純露

う矢柳ふぬ里あま〜 妻のぬ 魯童

菊川の泊屋ありりり春の雨 葉吹

た〜るのぬ陣や乾く〜起やまじ 得水

か〜るあけのよもよ〜 春のぬ 世園

た〜るのぬ林麻を 妻の早りり至 里鳩

は〜るはぬ着うぬ〜や三條の松 味山

春のぬや 花屏風のぬ言たま 琴糸

ま〜るのや猫のたまとる古 帆 湖帆

た〜るやぬ〜るま〜るぬ出さる妻のぬ 枕平

妻のぬやさ〜る〜石のこ〜る〜 左卜

赤壁白壁その外此〜るや妻のぬ ち風

もの影乃彦子ありく春の面 赤く

寂先平草さかしく行ぬ隙に 松翁

蝶くや志たらくしてあらく 越福夫 波弓

牛よまよふを蝶のゆくへに 花書

蝶くや何処より出るなり 枕浪

川柳そきもるなり 柳蝶 柳桑

蝶の羽あかきさまをうつり 石叢

くろから物よて出り 柳 花を

秋のる山様ましく 咲みり 懐櫓

たつちや日ハあまあうら 顔書 一川

まの花小葉の月もまき 春のる 松成

山様ありしのとておまひり 不友

おさくらまきひもとうぬら 女の目 女 いさ

蝶の志らぬま白くすり 秋の門 赤鶴

まぢうくく様子電吉くもほ 枝夕

世あくりき盤本もあし山様 妻山

牛を川及もあ重りり山様 固束

金城東山谷口有一錢橋往還負錢

後有山曰茶臼余此於山頂登臨

さかしきハ様うくむのぼりぬ 赫之

若くもおもひのわよ山様 魚船

片山の窓ハ淋しきむりや ちむ

岩盤本の中よ吹く山山様 如柳

け山ハ低きりくへの花くまり 鳳南

冥の戸や曉の籠子若の籠子 妻時

籠子唱や山ハ様つくさ月の月女 龜松

黄昏や何よ暮つく川と名 嵐堂

たるの鳥小松に抱ふ鳥多鳥 序牧

水鳥や囀ちりた浦の窓 世涼

陽空やわらむと柳も小鴨の水 珠三

山名や眼さきさをる夕暮 僧 六明

りをろふ此秘りてもの流きり 階涼

唐菓も花も人の人も具さるり 越嵐

そのまよふ山へんえりり 小免

向空やたうちらしくといつへり 益明

出て足れい雲の中や露の音 か 蒼鴨

陽空の中を出りり 妻や宗太 久几

むきし夜月ハ海りて雲あふ か 巴石

ゆふ屋よハ梅 梅 山のかきし 岷子

よあよ重 船の出しり 鶏の音 梅景

ものいたれ居ても嫉 を 去の空 友樹

たるの目や胡弓さきり也 峯 山 柿赤

沈る雉の門 田子 阿つる春日川 越 有隣

たるの白やあうめよ女 虫さるの辰 志つ陸

池水よ柳のくけをまき良うぬ 踏交

谷川の水のまきしてまき良うぬ 山成

飛つり蛙も鳴り萩のる 呂舟

蛙のこも鳴る萩とハおもひれき越福光 魯見

梅のちる萩とあれえ鳴蛙 麻寸

赤穂地よ前ちりくけとくき 槐路

くくみれたるの流れ木の芽ハ 三束

定り松や春のひうりをぬらうら 故邦

くくかして下を掃出さき椿哉越福光 懐影

濁り江の岸よ数咲棲の那 来志

村川や花のくく乃ちり椿 丈河

牛のあゝ里れちかきや枕の花 橋良

枕咲やまぬつきある里かへ里 賜切

詠むきたおとあけし松のむ 春遊

畚のむまこ木のくと籠月 我々

あらけなき荊の中此木の葉は うら

山吹のふらうら雲のたつきり 他石

尾のへやたうらの子とあけを菴 泥舟翁

志をまおく草や忘れぬ夕を菴 社月

その影此水底をりや菴は 若水

草つらや日もそらうらよほや菴 志分

日のまぢちよ翅つらうらよほや菴 越福光 雅正

松風ハ気まよも阿室のほや菴 梅下

雪を菴宿山よ日まのわらわの肌 午山

春ハものみぬあう免らぬよりり 冥功

細うちや白浪うらうらまで 智法

白り魚やうらえのあゝ希の人 浦水

松任

やふ入や思つて居と「森」も
山甫

うこそやむありと雲り「春」柳
あ屋

二月や石二の陰よりさえか介
里留

たらしくと球海貝の乾き
朝可

い〜のまますんえりり「下」草
素羽

春の香松うらとより幼よりり
又重

たらし乃夕日かささる山後
加吏

雪の戸や何とあく吹去の風が幸
そ基

松の枝の軽きかよりの妻の風
茂秋

そよ木さ萩やよもちり春の山
蒼葉

田の原りへうと家萩もあり妻の川
河上

目の前や柳りもとれ春乃水
九江

中々火入や睦月の花の咲見くら
許邑

二月をそしめて汝の是よりか
而方

幼午や首たけ高き男方河り
律備
六賀

野のこゆるほとと枝の明てまあノト之根
月志を―なき夕を猫の意 古竹

鶯の飛や妻目を身まつけて行脚希也

松風乃なるも吹りり梅の花 約月

名おのある山をたあれて短子の色 雪毛

ひさしくと日御まつきく妻の意 卜舟

月夜もあらは 渚の春の唇 甘日坊

田の人よひまてもあき柳の風 其水

たる風や帆ひとるきる風のちり 阿喜

流氷木の見えき来りり妻の水奈 百池

鶯乃乃左奈あおたおたの鳥左奈 奇鳥

春あや菴かられれれもりり 其如

幼午の何とかともれ―萩の山奈 其成

山風や音れともりを啼蛙、 芦漕

三日月の松の葉きき二月外 車大
人の目子かきまゝくたつや喜の厂 眉山
猫の意空吹風の横み帰 峯幸
淡く雪の二月降あり日ある 麻古
檐の下照る月萩より 晴 蛭 霞 旌
家と毎よふ吹ちるや 桶の水 京 葵 帆

三日月の松の葉きき二月外 車大

ふかきむのこゝふる北ゆみへ外 三仏
おもゝろく萩のサ餅子が伝ふ 一抄

去らり魚の尻のりふ 圃辛亭 甘谷
汝をえなれたり

書林

京御幸町錦小路上

勝田喜右衛門

2 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100

